



Kenneth Kuo
&
Ayako Yonetani



ケネス・クオ チェロ・公開マスタークラス

ケネス・クオ & 米谷 彩子 (ヴァイオリン) ジョイント・コンサート

パールマンやブルーゼとの共演を始め、まろやかな音色とロマンチックな演奏で絶賛されているケネス・クオ。 米国コネチカット州で音楽院を主宰し素晴らしい指導で尊敬されているクオが久しぶりに訪日し、チェロ・マスタークラスと米谷彩子とのジョイント・コンサートを行います。 セントラル・フロリダ大教授の米谷彩子は紀尾井シンフォニエッタにも参加。豊かに響く米谷のヴァイオリンとのデュオが楽しみです。

日 時： 2015年7月14日(火)

15:00~18:00 チェロ・マスタークラス (通訳：米谷彩子)

19:00~ ヴァイオリン&チェロ ジョイント・コンサート

ジョイント・コンサート曲目：

ヘンデル	ヴァイオリンソナタ 第1番 へ短調 HMV 370 作品 1-#12
バッハ	無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番 短調 BWV 1001
ベートーヴェン	ヴァイオリンとチェロのための2重奏曲 第1番 長調
ヘンデル・ハーヴァセン	ヴァイオリンとチェロのためのパッサカリア (お楽しみ) チェロ・ソロ曲

場 所： マエストローラ音楽院 (丸ノ内線「新宿御苑前」から3分)

マスタークラス (ご要望により、非公開とします)：

受講料(税込) 1時間 16,200 円 45分の場合 12,500 円

聴講料 2,200 円

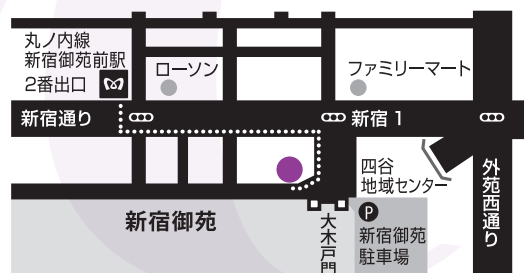
コンサート入場料： 2,000 円

申し込み先：

マエストローラ音楽院 info@maestrora.jp または 03-6457-4546

マエストローラ音楽院

新宿区新宿1-1-1 ワコー御苑ビルB1
(丸ノ内線・新宿御苑前駅から徒歩3分)



ケネス・クオ、チェリスト

台湾 台北市出身。シドニーモーニング・ヘラルド紙にて、素晴らしいテクニックと自信を兼ね揃えたチェリストと賞賛、また、雑誌ストリング紙には、演奏の難しさを感じさせない非常に巧みなテクニック、美しくまろやかな音色と同時に、ロマンティックな感受性溢れる演奏と絶賛される。

4歳でチェロを弾き始め、わずか8歳のときに、台北青少年チェロ大会にて受賞し、その後2年連続受賞。1986年、ニューヨーク市 マンハッタン音楽院にて マリオン・フェルドマン氏に師事、その後、ジュリアード音楽院にてハーヴィー・シャピロ氏に師事し、同ジュリアード音楽院にて学士号取得、さらにイエール大学院にてアルド・パリソ氏に師事し修士号を取得。同大学院卒業時には、高い芸術的業績が認められ、アルド・パリソ賞を受賞。他に、ジェイムズ・クレーガー、デービット・ゲーバー、ショーサン・リン、ダーウー・ザオ各氏に師事。

これまでに、アメリカ大陸、ヨーロッパ、アジアの各国で演奏活動しており、ニューヨーク市のカーネギーホール、リンカーンセンター内のエイヴリー・フィッシャー・ホール、ロシア モスクワ市のチャイコフスキーホール、サンクトペテルブルグ市のグラズノフ コンサートホール、台北市 国立中正文化中心、オーストラリア シドニー市、シドニータウンホールなどで演奏。また、米国グラミー賞受賞したピエール・ブーレーズ氏、アルド・パリソ氏、イツァーク・パールマン氏など数々の偉大な音楽家と共演を果たしており、2000年1月には、当時中華民国総統 李登輝に招待を受け、台湾にて演奏。

さらに、クラシックだけではなく、クロスオーバー音楽活動にも従事。台湾ジングレコード社より2つのアルバム、爆米香的滋—The Memories of Boom-Mi-Pon (10ヶ月連続売上げトップクラシックアルバム)、Splendid Adventure を発表し、双方合わせて、50万枚のCD売上げを記録。台湾グラミー賞クロスオーバー部門にノミネートされ、現在もアマゾン、iTunesにて発売中。また、ヴァージンレコード社より、台湾のディスカバーチャンネルや、フード、歴史チャンネルなどの番組のために作製された“The Sky You Decide” も発売されている。クロスオーバー音楽の試みとして、台湾のみならず、世界中の数々のポップスターと共演。

現在、米国コネチカット州ウエストポート市及びグリニッチ市にてコネチカットスクールオブミュージック主宰。コネチカットミュージカルアーツ財団創始者として、恵まれない子供達のための音楽教育及び財政支援に努める。また、イエール大学、国立台湾師範大学、米国コネチカットカレッジ テムズバレー音楽院、ニューヨーク州イサカ市ヴァイオリンチェロ学会、ニューイングランド音楽キャンプ、また、南米コロンビア市アントニオ ナリーニョ大学にて教鞭をとる。

イタリア ヴェネツィア市の伝説的弦楽器である1700年製マッテオ・ゴフリラー及び1735年製フランチェスコ・ゴフリラーを所有。

米谷 彩子、ヴァイオリニスト

「全日本学生音楽コンクール」小学生の部全国1位。NHK「若い芽のコンサート」、TBS「オーケストラがやってきた」に出演。第50回日本音楽コンクール入選。第29回海外派遣コンクール黒柳賞受賞。

神奈川県立湘南高校卒業後、ニューヨークのジュリアード音楽院に留学、パールマン、ミドリノの師である故ドロシー・デレイ教授に師事。

1993年日本人として初めてジュリアード音楽院ヴァイオリン科博士号を取得、本格的な演奏活動を開始。

1988年から2001年まで、ジュリアード・プレカレッジとアスペン音楽祭において故ドロシー・デレイ教授の助手を務める。

1995年「スロバキア春の音楽祭」に招かれ、コシツェ・フィルハーモニーとブラームスの協奏曲を共演、

スロバキア各地でリサイタルを開き、音楽祭中で最も人気のある演奏家として絶賛される。

1998年再び招かれ、チャイコフスキーの協奏曲を演奏。2001年チェコで開かれたヤナーチェック音楽祭にスロバキア国立室内管弦楽団と共に招かれ、メンデルスゾーン協奏曲を共演。その演奏はCDに録音されて、フロリダ公営放送局より「CD of the Month」特選盤に選ばれる。

1999年、アスペン・インスティテュートでバッハのシャコンヌを演奏、好評を得て以後毎夏招待される。

その功績により、2006年アスペン・インスティテュートより、名誉クラウンフェローを授与される。

2001年ドロシー・デレイの伝記「天才を育てる一名ヴァイオリン教師ドロシー・デレイの素顔」を翻訳、音楽之友社から出版。

2005、2006年、国際音楽コンクールの審査員として、カザフスタン共和国に招かれる。

2006年フロリダ州文化使節アーティストに選ばれ、日本、韓国、欧米各地でソロ、室内楽、レクチャーコンサート等幅広い活動を展開している。2008年CD「My Favourites」をヴァーナスクラシックよりリリース。

2012年「紀尾井シンフォニエッタ東京」のアメリカ公演ツアーに参加。2013年パナマ日本大使館主催により、「パナマと日本の友好」を記念してリサイタルを開く。

2013年フロリダの財団の寄付を受けて、ヴァイオリンとヴィオラを学ぶ学生のため「米谷彩子奨学金」が設立される。

現在、セントラル・フロリダ大学州立大学教授。「紀尾井シンフォニエッタ東京」のメンバー。

2006年よりフロリダ・オーランドのポラセック美術館の音楽監督として、コンサートシリーズ“Ayako at Polasck”を続けている。

2004年より、Marquis Who's Who in America に名を連ねている。